

### HI/九州遠征報告に関する件（2018/7/21～22）

頭書の件、昨年度に引き続き本年度も九州地区との交流、活性化及びHI認知度向上を目的として、九州遠征（長崎）をして参りましたので、以下の通りご報告申し上げます。

1. 日 時：2018年7月21日（土）～22日（日）
2. 場 所：[クリニック] 重工 長崎造船所テニスコート [懇親会] 魚采や 朝次郎 アミュプラザ長崎店
3. 参加者：21日：20名、22日45名
4. 総 括：
  - (1) 初日の参加者は九州予選出場者に加え、重工関係者の合計 20 名、二日目は初日参加者の再参加も含め 45 名となり、大盛況だった。
  - (2) 懇親会は、もともと予定されていた重工の暑気払いに参加させてもらう形式となり、重工以外の参加者はゼロだった（今年度幹事会社の電機に調整をお願いしていたが、懇親会への参加者はいなかった）。HI 盃のことや、三菱テニスの現状、関東側の意図等説明し、一定の理解を得られたものと史料。
  - (3) 今回の九州予選男子 S は重工の吉田選手が優勝したことで、来年度の幹事は重工となる。一方、前年度優勝会社が幹事を担当するやり方では、運営方法が正しく引き継がれず、事前連絡が漏れることも起こっているため、やはり一番体制が充実している重工を中心に、電機、生命にて九州世話人会を組織し、サステイナブルな大会運営ができるよう、九州地区委員の横濱氏に申し入れを行った。
5. 費 用：関東からの遠征者に交通費、宿泊費を補助。懇親会費用は半額補助。
6. 今後の課題：
  - (1) まずは、九州地区予選の運営体制を確立してもらい、必要な連絡先に、必要なタイミングで大会案内が配信できる体制が必要。そのために、九州世話人会を組織してもらうことを提案。
  - (2) クリニック開催については、とても好評だった。事前の幹事のアレンジの不幸で、懇親会は重工のみだったことから、来年度は前広に情報連携することが必要。
  - (3) 東西対抗に関する議論を進める必要有。継続テーマとする。

以上

